

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
14	リハビリテーションカレッジ島根に対する財政支援の請願について	学校法人同志舎 浜田市三隅町古市場 理事長 岩谷 百合雄	西田 清久 田畑 敬二 村木 勝也	R7.6.23
付託委員会		審査経過（委員会）	審議結果（本会議）	結果 年月日
総務文教委員会				
【請願の趣旨】 1 願意 入学者数5年連続増加、全学科国家試験合格率100%など、経営改善を着実に進め、6月25日に新理事長のもとで新たなスタートを切るリハビリテーションカレッジ島根が、島根県西部で唯一のリハビリ養成校として存続し、更なる発展を遂げていくためには、経営の安定化、教育の充実、学生サービスの向上等を推進し、学校の魅力を更に向上させることが必須であり、必要資金として1億円程度の財政支援を求めます。 2 理由 学校法人同志舎に対しては、令和3年度にリハビリテーションカレッジ島根経営改善支援事業として補助金1億円を交付していただき、有効に活用させていただきました。お陰様で、入学者の増加、国家試験合格率の向上、留学生受入体制の整備、就職支援室の新設等、経営の改善と学校の魅力向上につながることができました。 また、大手学校法人の指導を受ける機会も設けていただき、学生募集、国家試験対策、就職支援等、大いに参考にさせていただきました。 その間、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類に移行するまでは学生募集活動や臨床実習が満足に行えず、学外講師による授業もオンラインで行われるなど、計画の進捗が遅れておりましたが、コロナ後は正常な姿に戻り、本年2月に実施された国家試験では、開校以来初の全学科合格率100%を達成、4月には現体制では最高の70名の新入生を迎えることができました。 これも皆様のご支援の賜物であり、厚くお礼申し上げます。 結果的に、令和4年2月に策定した5カ年の経営改善計画（令和4年度～令和8年度）に掲げた項目のうち、留学生の安定確保、国家試験合格3学科100%、第一志望就職内定率70%以上（今春卒業生実績79.4%）、事業承継等は3年で達成することができましたが、コロナ禍が長引いたことで入学者数の目標達成が2年程度遅れ、令和5年度～令和7年度の3年間累計の学生数が計画よりも100名以上少なくなり、学納金収入が不足することとなりました。 今回の請願の理由としては、①新理事長のもと、学校の更なる発展に向けて、地元とともに安心して諸施策に取り組んでいける環境を整えたいこと、②令和5年5月までコロナ禍が続いた影響で学生数の増加とそれに伴う収支の改善が計画よりも2年程度遅れ、今後の学校運営に必要な資金が不足していることが主な理由です。 次期理事長の野村有信氏は医師であり、元都議会議員でもあり、本校の重要性、地域医療の重				

要性、リハビリテーション医療の重要性については十分理解しておられます。幅広い人脈をお持ちであり、必ずや本校を良い方向に導いてくださるものと確信しております。

野村氏からは学校法人同志舎に対して本年3月に2,000万円の寄付をいただいております、更に1,000万円の寄付を申し出ておられます。本気でこの学校を良くしようと考えておられます。

近年学校の状況は上向いており、野村氏の理事長就任で経営基盤も強化される見通しです。リハビリテーションカレッジ島根は地元浜田市にとって大切な教育機関です。旧経営陣も引き続き学校運営に関わることで野村体制を支援していく予定ですので、浜田市様からも格段のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上